

地域密着サービス運営推進会議 報告書

施設名：グループホーム稗原

日 時：令和 7 年 5 月 29 日(木)

13：55～14：55

場 所：グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

参加予定者：稗原コミュニティーセンター長

市森自治協会副会長

稗原地区自治協会会長

稗原地区社会福祉協議会会長

喜楽会会長

出雲市高齢者福祉課課長補佐

グループホーム稗原(管理者)

グループホーム稗原(介護支援専門員)

<議題>

- 1.ご利用者状況
- 2.近況報告
- 3.行事報告
- 4.事故・ヒヤリハット事例報告
- 5.研修・委員会・訓練等
- 6.今後の行事・研修等予定
- 7.その他
- 8.意見交換

<議題>

1.ご利用者状況(令和 7 年 5 月 27 日時点)

	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
男性	0 名	3 名	1 名	1 名	1 名	6 名
女性	4 名	0 名	2 名	1 名	0 名	7 名
計	4 名	3 名	3 名	2 名	1 名	13 名

平均介護度…2.4

平均年齢 …84.3 歳(77～93 歳)

- ・ 4/17 4/2 誤嚥性肺炎にて入院されていた男性の方(要介護 2)が退所されました。
- ・ 4/23 3/18 より右股関節部の腫瘤により入院されていた男性の方(要介護 3)が退所されました。
- ・ 5/1 4/2 右大腿骨頸部骨折にて入院されていた女性の方(要介護 1)が退院・帰設されました。
- ・ 5/26 4/28 より肺炎にて入院されていた男性の方(要介護 1)が退所されました。

2.近況報告

現在、2ユニットで13名の方がご入居中です。

日中は1ユニット内にて、一緒に体操やレクリエーションを行いながらお過ごしいただいています。

5月に入り、過ごしやすい気候の日が多くなりました。室内でのレクリエーションや活動の他、散歩などを楽しまれ過ごされています。

5月は母の日があり、ご家族様からカーネーションのプレゼントがありとても喜んでいらっしゃいました。

引き続き、気候に合わせた空調管理や衣類等の調整、活動を行ってまいります。

3.行事報告

<4月 誕生会>

4月生まれの方の誕生会を行いました。常時居室にてお過ごしになられている要介護5のご利用者様も4月生まれでいらっしゃったため、短時間でもホールに出ていただき皆様でお祝いをさせていただこうと思いましたが、ご本人様が拒まれたためそのまま居室にてお祝いをさせていただきました。

他の皆様は、ホールにてケーキやプレゼントでお祝いをさせていただきました。誕生月以外の方も誕生会を楽しみにされており、お祝いの言葉を述べられたり、歌を歌ってお祝いをされたりしま

した。

<5月 端午の節句・誕生会>

皆様がこいのぼりを作成してくださり、ホールに飾らせていただきました。色とりどりのこいのぼりが飾られていることで、空間がより明るくなりました。誕生会を兼ねての会だったため、こいのぼりの歌の他、誕生月だった方のリクエストによりカラオケ大会を行いました。遠慮される方も多かったですが、マイクを渡すとお好きな歌を歌われていました。また、カラオケをリクエストされた方は、何曲も歌われ嬉しそうにされていました。

4.事故・ヒヤリハット事例報告

○事故報告

・事例①89歳 男性 要介護2

(内容)

就寝後、ベッドサイドのセンサーマットが鳴動したのとほぼ同時にドスンと大きな音が聞こえる。すぐに訪室するとベッドにもたれるようにして横になられているのを発見する。

(対処)

痛みの確認を行うと、右肘から手首にかけての痛みの訴えあり。外傷なし。バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)後、介助にてベッドへ移乗し休まれる。

(原因)

しっかりと覚醒されずに立とうとされた可能性あり。掛布団と毛布も落ちていたため、足に絡まったことも考えられる。

(ご利用者様の状況)

その後何度か覚醒されるも、右腕の痛みの訴えなし。起床後も普段とお変わりなく右手を使用し朝食を摂取される。

(再発防止に向けて)

掛布団類の変更を行い、夜間センサー鳴動時には速やかに訪室できるようにより見守りを強化していく。

・事例②93歳 女性 要介護1

(内容)

起床時間にセンサーマットが鳴動し訪室。居室内にあるポータブルトイレを使用後、歩行器を使用しホールへ出ていただこうとした際、膝が折れてしまい、職員が体を支えるもそのまま床に座り込まれる。

(対処)

ご自分で立位を取ることができず、介助にて車椅子へ座っていただく。その後バイタル測定(体温、血圧、脈拍、酸素飽和濃度)実施。

(原因)

骨折後退院されて間もない時期であり、筋力低下があったと思われる。そのため、力が入りきらず膝折れが起こってしまった。

(ご利用者様の状況)

新たな痛みの出現等なくお過ごしになる。

(再発防止に向けて)

- ・移動や移乗時には必ず職員が体に触れ、いつでも支えられる状況での支援を行う。
- ・ご本人様の状態に応じて、歩行器の使用と車椅子の使用を適時行う。

○ヒヤリハット

・事例①78歳 男性 要介護2

(内容)

早朝より起きておられホールに出られている。他の皆様の起床時間になり、職員が居室やホール間を行き来していると、台所カウンター上に置いてあった他ご利用者様の下剤(小さな液体のボトル)を持ち帰ろうとされる。その行動を職員が見ていたため、すぐに声をかけ返却いただく。

(対策)

以前より施設の備品や他ご利用者様の衣類等を持ち帰られることがあり気を付けていた。薬類は利用者様がすぐに触れられない場所で保管していたが、一時的に置いたものを持ち帰ろうとされたよう。改めて、薬の保管はご利用者様がすぐに手を伸ばせない場所での管理を徹底する。

5. 研修・委員会・訓練等

○研修

- ・4月にBCP(事業継続計画)自然災害に関する研修を行い、自然災害発生時の対応の手順や役割について再確認を行いました。
- ・5月に緊急時の対応に関する研修、BCP(事業継続計画)感染症に関する研修を行いました。

○委員会

- ・5月に身体拘束廃止・高齢者虐待防止委員会を行いました。日頃よりご利用者の皆様へ敬意を持ちケアに当たることで声かけ等に注意することができること、多忙な時間帯こそ冷静な対応を心がけること、職員間のコミュニケーションの大切さを再協議しました。

○訓練

- ・4月に防災訓練を行いました。ご利用者の皆様には外まで避難していただき、職員はその後水消火器にて消火訓練を行いました。



6. 今後の行事・研修等予定

○行事予定

- 6月：お菓子作り
- 7月：七夕会、誕生会

○研修・委員会等予定

- 6月：事故発生または再発防止に関する研修、感染症委員会
- 7月：非常災害時の対応に関する研修

7.その他

ご利用者様の食事について、6/1より朝食に加え夕食も毎食手作りの品を提供する予定としています。昼食のみお弁当になる予定です。

8.意見交換

○この2ヵ月以内に退所された方が3名いらっしゃいますが、皆さん入院後退所という方向になられたのですか。

→はい。お二人は医療行為が継続して必要となられたためそのまま入院継続となられ、もうお一人は元々自宅へ帰りたいお気持ちが強く、ご家族様も了承されたため、治療後退所されることとなりました。

○事故報告の事例②の方は、入院し退院された方ですか。

→はい。帰設され間もなくに起こった事故報告となります。

○定員は何人ですか。

→18人です。

・現在申し込みをされている方がいらっしゃいますか。

→数名いらっしゃいますが、お急ぎの方ではないためご入居に繋がっていません。

○食事が一日二食手作りになってよかったですね。何か理由があったのですか。

→特別な理由はありません。代表がその方針を出しました。

・食事は何人で用意されていますか。

→主に二人の職員が用意しています。

・様々な食材が物価高ですが、食費は上がりましたか。

→いいえ、当事業所の食費は変わっていません。

・やはり手作りの食事は喜ばれると思います。

・ご利用者により食事の内容が違いますか。

→食事内容は同じですが、ご利用者様のご状態により形態は異なります。

・同じ調理されたものでもお弁当はなぜか飽きてしまうので、手作りだと良いと思います。

・お米の価格が上昇しているようですが、お米の調達はどうされていますか。

→代表が仕入れています。

・現時点で食材費等に影響は出ていませんか。

→はい、出ていません。

・ご利用者のご家族などから食材の寄贈などはありますか。

→残念ながらそのようなご寄贈は殆どありません。

・ご利用者の中で、ご飯よりパンを好まれる方はいらっしゃいませんか。

→自発的にパンを要求される方はいらっしゃいません。お茶の時間などに肉まんをお出しすると、その時はとても喜ばれます。

→やはりあんこが使われているおはぎやお汁粉などは皆様がお好きなので、とても喜ばれます。

・昔は海苔巻きやちらし寿司、いなり寿司がご馳走だったので、ご利用者の皆様にとってもそうではないでしょうか。特別な時に出ることがありますか。

→普段の食事の際にちらし寿司を提供することがあります。海苔巻きが出ることもありますが、海苔を噛み切ることができない方が多いので、刻んでお出しさせていただいています。

・誕生会の時には特別メニューになりますか。

→誕生会は毎回は特別メニューではないですが、年末年始とクリスマスは特別メニューをお出しさせていただいています。

○報告内容から、やはり肺炎と骨折が大きなターニングポイントになってしまう場合が多いようですね。

→仰る通りです。肺炎に関しては、むせなどの症状がないままいつの間にか発症されていることがあります。

・口腔内のトレーニングなどがありますか。

→食事前に口腔体操を行っています。但し、集中力が続かない方や理解できない方などもいらっしゃる、効果はご利用者様それぞれかと思えます。

・口腔内の維持はとっても大切だと思います。

→引き続き、普段の会話や体操などを継続して行い、口腔内の機能維持に努めてまいります。

○BCP 自然災害の訓練は実際に集会所まで避難をしましたか。それとも机上訓練ですか。

→今回は机上訓練を行いました。今年度、集会所の鍵を保管されている市森地区の方に有事の際のご協力をお願いしました。

・毎年この時期になると大雨の被害や危険性が高くなるので備えておいた方が良いと思います。

→はい、留意いたします。

・避難等の基準はどのようにされていますか。

→警戒レベル3で避難の可能性を考慮し準備することとしています。更に警戒レベルが上がれば速やかに避難できる体制を整えます。

・先日出雲市内で暴風による緊急体制整備を知らせる旨の通知が届きました。今後、台風、浸水、地震だけでなく、暴風などの対策も必要になってくるかもしれませんね。

→あらゆる災害に対してのマニュアル整備や避難の必要性を考えなければならないと思います。

・この立地であればやはり水害が一番可能性が高いかと思えます。

→はい、土砂災害の警戒区域からも予測の上では外れているため、やはり水害の危険性が一番高いと思います。

・目の前に川があるため、危険性が高いとは言われるかと思いますが、土地的にもう少し下った地区の方が浸水してしまい、危険性が高いことが数年前の水害ではっきりとわかりました。川は岩でできており川自体もかなり深いので、施設の立地的には周辺の土地よりも浸水のリスクは低いかなと思います。

→急激な増水によりどのような危険性が出てくるかわからないため、今後も気を抜かずに留意していきます。

○資料にバイタル測定と記載されていますが、その後に続く()内の計測をされるのですか。

→はい、仰る通りです。

・それらを計測し、普段との違いがあるかどうかを判断されるのですか。

→はい、ご状態の変化があるかどうかの判断材料の一つとしています。

・毎日バイタル測定を行っていらっしゃるのですか。

→はい、毎朝計測させていただいています。

○隣設するやまゆりのデイサービスとの交流はありますか。

→現時点ではありません。但し、避難等が必要な場合には協力体制を取ります。

・やまゆりのデイサービスも避難所としては市森集会所ですか。

→はい。

○こちらのグループホームに3年前自治会で購入したAEDを設置しています。24時間開放されている場所の一つだからです。

→お世話になっております。緊急時には使用させていただきたいと思います。

・緊急時に慌てず使用できるように日頃からの訓練や練習が必要だと思います。

→はい、いざという時に冷静に対応できるように定期的に訓練を行いたいと思います。

・夜間は施錠されているのですか。

→はい、正面玄関の施錠は行っていますが、インターフォンを鳴らしていただければ職員が対応します。

○現在ご入居中の方で、稗原の方は何名ですか。

→1名の方が稗原の方となっています。

○昔は自宅の床下に消毒を定期的に巻いたり、畳上げをして天日干しを行うなどの慣習がありました。アリジゴクは“ててぽっぽ”と呼んでいました。

→ご利用者の皆様に“ててぽっぽ”をご存じか伺うと話が広がりそうです。また、会話することで、記憶を想起し認知機能の刺激になったり口腔内のトレーニングにもなるため、皆様との会話の種にしてみたいと思います。

以上

地域密着サービス運営推進会議 出欠票



開催日時 : 令和7年5月29日(木) 13:55~14:55
 場所 : グループホーム稗原 きんもくせいユニットホール

- 議題: 1.ご利用者状況
 2.近況報告
 3.行事報告
 4.事故・ヒヤリハット事例報告
 5.研修・委員会・訓練等
 6.今後の行事・研修等予定
 7.その他
 8.意見交換

令和7年5月29日(木)開催 運営推進会議参加者

		出欠	備考
稗原コミュニティセンター長		○	
市森自治協会副会長		○	
稗原地区社会福祉協議会会長		○	
喜楽会会長		○	
稗原地区自治協会会長		○	
出雲市役所高齢者福祉課課長補佐		○	
グループホーム稗原職員	(代表取締役)	欠	
	(管理者)	○	
	(介護支援専門員)	○	